

令和3年司法試験予備試験

受験願書の記入要領

司法試験委員会

※ 受験願書は電子計算機で処理します。“不備願書”は受理せずに返却することとなりますので、記入に当たっては、この記入要領、受験案内、記入例をよく読み、正しく記入してください。なお、記入内容に誤りがあった場合、司法試験法第10条に規定する不正受験とみなされ、合格の取消し等の処分を受けることがありますので十分に注意して記入してください。

注意事項

- 受験願書は、出願日現在の情報を正確に記入してください。
- 受験願書は、司法試験委員会が交付する令和3年司法試験予備試験の受験願書以外は使用できません。
- 受験願書は、黒インクのボールペン（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用し、各項目欄に漏れなく、**楷書で正確かつ丁寧に**記入してください。正確かつ丁寧に記入していない場合は、電子計算機で正しく読み取れず、誤った情報が入力される場合がありますので十分注意してください。
- 各項目欄は左詰めで記入してください。
- 記入した事項（**数字記入欄含む**。）を訂正する場合は、誤った記入事項を二重線「=」で抹消し、その上又は横に書き直してください（修正液及び修正テープでの修正は不可）。なお、訂正する際の記入事項は、所定の枠からはみ出して記入しても差し支えありません。**訂正印を押す必要はありません。**

数字は算用数字で、年は和暦により記入してください。

※ **項目⑩（7ページ参照）の希望試験地については、試験地コードのみ記入してください。試験地コードの記入誤りによる試験地の変更はできません**ので、書き間違いのないよう、十分注意してください。

目次

①氏名 ②旧氏名 ③通称又は旧姓…………… 1	⑨受験者ID ⑩希望試験地…………… 7
④本籍地又は国籍…………… 2	⑪受験特別措置の希望 ⑫写真貼付欄 ⑬郵便物送付先住所欄…………… 8
⑤生年月日 ⑥性別 ⑦職種…………… 3	⑭連絡先欄 ⑮収入印紙貼付欄…………… 9
⑧最終学歴…………… 4	受験願書記入例…………… 10

①氏名 ②旧氏名 ③通称又は旧姓

<p>① 氏名</p>	<p>次のとおり、氏名を記入してください。 上欄には、氏名の読みをカタカナで記入します。濁点・半濁点は1字としてください。 下欄には、漢字氏名を記入します。漢字氏名は楷書で、戸籍又は住民票に基づいて正確に記入してください。なお、平仮名等を含む場合は、濁音・半濁音の文字は1字として1マスに記入してください。 ※ 受験者への通知等においては、JIS(日本産業規格)第2水準までの漢字を使用し、それ以外の文字(いわゆる外字等)については、JIS第2水準までの漢字に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。</p> <p>【記入例】 氏名 司法のぞみ(シホウノゾミ)の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">フリガナ (カタカナ)</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">シホウ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">ノゾミ</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">①氏名</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">司法</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">のぞみ</td> </tr> </table>	フリガナ (カタカナ)	シホウ	ノゾミ	①氏名	司法	のぞみ
フリガナ (カタカナ)	シホウ	ノゾミ					
①氏名	司法	のぞみ					
<p>② 旧氏名 (該当者のみ)</p>	<p>過去に司法試験予備試験、司法試験又は平成16年度以降に実施された旧司法試験第二次試験に出願したことがある方で、最後の出願時の氏名と現在の氏名が異なる場合は、旧氏名を記入してください。 併せて、氏名変更等の経緯が確認できる書類(戸籍抄本、除籍抄本又は旧姓が併記された住民票)を提出してください。 ※ 出願のみで実際に受験していない方も含みます。 ※ 最後の出願以降に、現在の氏名への変更届を提出している場合は、記入及び書類の提出は不要です。 ※ 旧姓による受験を希望する方は、③も記入してください。</p> <p>【記入例】 令和2年司法試験予備試験に出願した方が、令和3年2月に戸籍上の氏名「法務のぞみ(旧氏名)」を「司法のぞみ(現氏名)」に変更した場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">フリガナ (カタカナ)</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">ハウム</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">ノゾミ</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">③通称 又は旧姓</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">法務</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">のぞみ</td> </tr> </table>	フリガナ (カタカナ)	ハウム	ノゾミ	③通称 又は旧姓	法務	のぞみ
フリガナ (カタカナ)	ハウム	ノゾミ					
③通称 又は旧姓	法務	のぞみ					
<p>③ 通称又は旧姓 (該当者のみ)</p>	<p>次のア又はイに該当し、かつ、通称又は旧姓の使用を希望する方は、ア又はイに記載する書類を提出の上、使用を希望する氏名を記入してください。 ア 日本国籍を有しない方で、通称名が記載された住民票を提出できる場合 イ 旧姓(戸籍上の旧氏名)がある方で、氏名変更等の経緯が確認できる書類(戸籍抄本、除籍抄本又は旧姓が併記された住民票)を提出できる場合 ※ 通称又は旧姓による受験を希望した場合は、受験者への通知(受験者ID通知書を除く。)における氏名は通称又は旧姓となりますが、合格証書については戸籍等に基づく氏名が記載されます。</p> <p>【記入例】 戸籍上の氏名は「司法のぞみ」であるが、「法務のぞみ(旧姓)」による受験を希望する場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">フリガナ (カタカナ)</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">ハウム</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">ノゾミ</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">③通称 又は旧姓</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">法務</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">のぞみ</td> </tr> </table>	フリガナ (カタカナ)	ハウム	ノゾミ	③通称 又は旧姓	法務	のぞみ
フリガナ (カタカナ)	ハウム	ノゾミ					
③通称 又は旧姓	法務	のぞみ					

④本籍地又は国籍

④ 本籍地
又は国籍

本籍地又は国籍を下の【本籍地・国籍コード表】から選択し、該当するコードを記入します。

なお、日本国籍を有しない方は、コード欄に「53」を記入します。

【記入例1】

本籍地が「富山県」の場合

④本籍地 又は国籍	コード	16
--------------	-----	----

【記入例2】

国籍が「大韓民国」の場合

④本籍地 又は国籍	コード	53
--------------	-----	----

本籍地・国籍コード表

本籍地・国籍	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

本籍地・国籍	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
日本国籍以外	53

⑤生年月日 ⑥性別

<p>⑤ 生年月日</p>	<p>生年月日を和暦で記入します。 「元号」欄には、元号を【元号コード表】から選択して、該当するコードを記入し、「年」「月」「日」欄にはそれぞれ該当する算用数字(記入数字が1桁の場合は先頭に「0」を付与)を記入します。</p> <p>【記入例】 生年月日が「平成元年3月28日」の場合</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;">元号</td> <td style="width: 10%;">年</td> <td style="width: 10%;">月</td> <td style="width: 10%;">日</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">⑤生年月日</td> <td>H</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>03</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>28</td> </tr> </table>		元号	年	月	日	⑤生年月日	H	0	1	03					28
	元号	年	月	日												
⑤生年月日	H	0	1	03												
				28												
	<p style="text-align: right;">元号コード表</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>元号</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大正</td><td>T</td></tr> <tr><td>昭和</td><td>S</td></tr> <tr><td>平成</td><td>H</td></tr> <tr><td>令和</td><td>R</td></tr> </tbody> </table>	元号	コード	大正	T	昭和	S	平成	H	令和	R					
元号	コード															
大正	T															
昭和	S															
平成	H															
令和	R															
<p>⑥ 性別</p>	<p>性別を【性別コード表】から選択し、該当するコードを記入します。</p> <p>【記入例】 性別が女性の場合</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%;">コード</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">⑥性別</td> <td>2</td> </tr> </table>		コード	⑥性別	2											
	コード															
⑥性別	2															
	<p style="text-align: right;">性別コード表</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>男性</td><td>1</td></tr> <tr><td>女性</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	性別	コード	男性	1	女性	2									
性別	コード															
男性	1															
女性	2															

⑦職種

<p>⑦ 職種</p>	<p>職種を下【職種コード表】から選択し、該当するコードを記入します。 受験時ではなく、出願時現在の職種を記入してください。 なお、大学院生の場合は、法科大学院生と法科大学院以外の大学院生でコードが異なります。また、高校生の場合は、「無職(アルバイトを含む)」を選択してください。</p> <p style="text-align: right;">職種コード表</p> <p>【記入例】 会社員である場合</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%;">コード</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">⑦職種</td> <td>03</td> </tr> </table>		コード	⑦職種	03																				
	コード																								
⑦職種	03																								
	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>公務員(教職員を除く。)</td><td>01</td></tr> <tr><td>教職員(公立・私立を問わない。)</td><td>02</td></tr> <tr><td>会社員(役員を含む。)</td><td>03</td></tr> <tr><td>法律事務所事務員</td><td>04</td></tr> <tr><td>塾教師(家庭教師はコード10(その他))</td><td>05</td></tr> <tr><td>自営業(農林漁業を含む。)</td><td>06</td></tr> <tr><td>法科大学院生</td><td>07</td></tr> <tr><td>法科大学院以外の大学院生</td><td>08</td></tr> <tr><td>大学生</td><td>09</td></tr> <tr><td>その他(独立行政法人職員等を含む。)</td><td>10</td></tr> <tr><td>無職(アルバイトを含む。)</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	職 種	コード	公務員(教職員を除く。)	01	教職員(公立・私立を問わない。)	02	会社員(役員を含む。)	03	法律事務所事務員	04	塾教師(家庭教師はコード10(その他))	05	自営業(農林漁業を含む。)	06	法科大学院生	07	法科大学院以外の大学院生	08	大学生	09	その他(独立行政法人職員等を含む。)	10	無職(アルバイトを含む。)	11
職 種	コード																								
公務員(教職員を除く。)	01																								
教職員(公立・私立を問わない。)	02																								
会社員(役員を含む。)	03																								
法律事務所事務員	04																								
塾教師(家庭教師はコード10(その他))	05																								
自営業(農林漁業を含む。)	06																								
法科大学院生	07																								
法科大学院以外の大学院生	08																								
大学生	09																								
その他(独立行政法人職員等を含む。)	10																								
無職(アルバイトを含む。)	11																								

⑧最終学歴

⑧ 最終学歴

次のとおり、**出願時における最終学歴**に関する事項を記入します。

1 法科大学院に進学したことがない方

- (1) 学校名欄に、最終的に卒業（修了）、中退又は在籍している学校について学校名を記入します。
- (2) 学歴コード欄に、5ページの【最終学歴コード表】から選択し、該当するコードを記入します。なお、**受験時ではなく、出願時現在のコードを記入してください。**

※ 【法科大学院名コード】欄は記入しないでください。

例：現在、大学2年生の方

→ コード：14（大学生（2年））

現在、法科大学院以外の大学院在学中の方

→ コード：32（法科大学院以外の大学院在学中）

法科大学院以外の大学院を中退し、現在、会社員の方

→ コード：33（法科大学院以外の大学院中退）

【記入例】

出願時現在において、大学4年生の方

⑧最終学歴	学校名	司法大学									
	学歴コード	12		法科大学院名コード							

※ 法科大学院名コードは学歴コード「21」から「28」までの方のみ記載してください。

2 法科大学院に進学したことがある方又は現在法科大学院に在籍している方

- (1) 学校名欄に、最終的に修了、中退又は在籍している法科大学院名を記入します。
- (2) 学歴コード欄に、5ページの【最終学歴コード表】から選択し、該当するコードを記入します。なお、**受験時ではなく、出願時現在のコードを記入してください。**
- (3) 法科大学院名コード欄に、6ページの【法科大学院名コード表】から選択し、該当するコードを記入します。
なお、一度、法科大学院に進学して中退又は修了し、再度、法科大学院に在学等している方は、現在の法科大学院名のコードを記入します。

※ 法科大学院生の年次について

未修者コース1年目

→ コード：24（法科大学院生（1年次））

未修者コース2年目又は既修者コース1年目

→ コード：23（法科大学院生（2年次））

未修者コース3年目以上又は既修者コース2年目以上

→ コード：22（法科大学院生（3年次以上））

【記入例】

出願時現在において、法科大学院既修者コース（法学部系）1年目在学中の方

⑧最終学歴	学校名	司法大学大学院									
	学歴コード	23		法科大学院名コード	1234						

上欄に法科大学院名を記載し、該当する法科大学院名コードを記入してください

最終学歴コード表

最終学歴	コード	最終学歴	コード
大学卒業	11	法科大学院以外の大学院修了	31
大学生（4年以上）	12	法科大学院以外の大学院在学中	32
大学生（3年）	13	法科大学院以外の大学院中退	33
大学生（2年）	14	短期大学卒業	41
大学生（1年）	15	短期大学在学中	42
大学中退	16	短期大学中退	43
法科大学院修了	21	高等学校卒業	51
法科大学院生（3年次以上）	22	高等学校在学中	52
法科大学院生（2年次）	23	高等学校中退	53
法科大学院生（1年次）	24	その他（専修学校，専門学校等）	61
法科大学院中退	25		

法科大学院名コード表

区分	法科大学院名	コード
1	東北学院大学大学院法務研究科	1101
	東北大学大学院法学研究科	1102
	北海学園大学大学院法務研究科	1103
	北海道大学大学院法学研究科	1104
2	青山学院大学大学院法務研究科	1201
	大宮法科大学院大学法務研究科	1202
	学習院大学大学院法務研究科	1203
	神奈川大学大学院法務研究科	1204
	関東学院大学大学院法務研究科	1205
	慶應義塾大学大学院法務研究科	1206
	國學院大學大学院法務研究科	1207
	駒澤大学大学院法曹養成研究科	1208
	上智大学大学院法学研究科	1209
	駿河台大学大学院法務研究科	1210
	成蹊大学大学院法務研究科	1211
	専修大学大学院法務研究科	1212
	創価大学大学院法務研究科	1213
	大東文化大学大学院法務研究科	1214
	千葉大学大学院専門法務研究科	1215
	中央大学大学院法務研究科	1216
	筑波大学大学院ビジネス科学研究科	1217
	桐蔭横浜大学大学院法務研究科	1218
	東海大学大学院実務法学研究科	1219
	東京大学大学院法学政治学研究科	1220
	首都大学東京(東京都立大学大学院社会科学研究科)	1221
	東洋大学大学院法務研究科	1222
	獨協大学大学院法務研究科	1223
	日本大学大学院法務研究科	1224
	白鷗大学大学院法務研究科	1225
	一橋大学大学院法学研究科	1226
	法政大学大学院法務研究科	1227
	明治学院大学大学院法務職研究科	1228
明治大学大学院法務研究科	1229	
横浜国立大学大学院国際社会科学府	1230	
立教大学大学院法務研究科	1231	
早稲田大学大学院法務研究科	1232	

※ 区分ごとの五十音順になっています。

区分	法科大学院名	コード
3	愛知学院大学大学院法務研究科	1301
	愛知大学大学院法務研究科	1302
	金沢大学大学院法学研究科	1303
	静岡大学大学院法務研究科	1304
	信州大学大学院法曹法務研究科	1305
	中京大学大学院法務研究科	1306
	名古屋大学大学院法学研究科	1307
	南山大学大学院法務研究科	1308
	新潟大学大学院実務法学研究科	1309
	名城大学大学院法務研究科	1310
	山梨学院大学大学院法務研究科	1311
4	大阪学院大学大学院法務研究科	1401
	大阪市立大学大学院法学研究科	1402
	大阪大学大学院高等司法研究科	1403
	関西大学大学院法務研究科	1404
	関西学院大学大学院司法研究科	1405
	京都産業大学大学院法務研究科	1406
	京都大学大学院法学研究科	1407
	近畿大学大学院法務研究科	1408
	甲南大学大学院法学研究科	1409
	神戸学院大学大学院実務法学研究科	1410
	神戸大学大学院法学研究科	1411
	同志社大学大学院司法研究科	1412
	姫路獨協大学大学院法務研究科	1413
	立命館大学大学院法務研究科	1414
	龍谷大学大学院法務研究科	1415
5	岡山大学大学院法務研究科	1501
	香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科	1502
	島根大学大学院法務研究科	1503
	広島修道大学大学院法務研究科	1504
	広島大学大学院法務研究科	1505
6	鹿児島大学大学院司法政策研究科	1601
	九州大学大学院法務学府	1602
	熊本大学大学院法曹養成研究科	1603
	久留米大学大学院法務研究科	1604
	西南学院大学大学院法務研究科	1605
	福岡大学大学院法曹実務研究科	1606
	琉球大学大学院法務研究科	1607

⑨受験者 I D

<p>⑨ 受験者 I D (該当者のみ)</p>	<p>過去に司法試験予備試験又は司法試験（新司法試験及び旧司法試験第二次試験を含む。）に出願されたことのある方で、受験者 I D（11桁）をお持ちの方は記入してください。</p> <p>なお、<u>受験者 I Dを紛失した又は取得したことがない場合、記入は不要ですが、住民票を提出していただく必要があります。</u></p> <p>※ 受験者 I Dを記入した方でも住民票が必要となる場合がありますので、別添「受験案内」（1 ページ）の「2 提出書類」をよく確認してください。</p> <p>【記入例】 受験者 I Dが「1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1」の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">⑨受験者 I D</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">4</td> <td style="width: 5%;">5</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">7</td> <td style="width: 5%;">8</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">0</td> <td style="width: 5%;">1</td> </tr> </table>	⑨受験者 I D	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
⑨受験者 I D	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1		

⑩希望試験地

<p>⑩ 希望試験地</p>	<p>受験を希望する試験地について、下の【短答式試験 試験地コード表】から選択し、該当するコードを記入します。</p> <p>※ 記入誤りによる試験地の変更はできません。書き間違いのないよう、十分注意してください。</p> <p>【記入例】 希望試験地が「東京都又はその周辺」の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">⑩希望試験地</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 5%;">0</td> <td style="width: 5%;">1</td> </tr> </table>	⑩希望試験地	1	0	1
⑩希望試験地	1	0	1		

短答式試験 試験地コード表

試験地	コード
東京都又はその周辺	101
大阪府又はその周辺	102
名古屋市又はその周辺	103
福岡市又はその周辺	104
仙台市又はその周辺	105
札幌市又はその周辺	106
広島市又はその周辺	107

※ なお、論文式試験の試験地は、短答式試験を「仙台市又はその周辺」で受験した方は「東京都又はその周辺」、「名古屋市又はその周辺」又は「広島市又はその周辺」で受験した方は「大阪市又はその周辺」となります。

⑪受験特別措置の希望

<p>⑪ 受験特別措置の希望 (該当者のみ)</p>	<p>視覚障害、聴覚障害、音声・言語機能障害、肢体障害その他身体に障害等があるため、短答式試験、論文式試験及び口述試験のいずれかで受験特別措置を希望する場合は、本欄に「1」を記入します。</p> <p>なお、本欄に記入した場合は、別添「受験案内」(6ページ)の「第6 身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置」をよく読み、司法試験予備試験身体障害者等受験特別措置申出書及び障害や傷病の程度を証明する書類等を受験願書と一緒に必ず提出してください。</p> <p>【記入例】 受験特別措置を希望する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">⑪受験特別 措置の希 望</td> <td style="text-align: center;">コード 1</td> </tr> </table>	⑪受験特別 措置の希 望	コード 1
⑪受験特別 措置の希 望	コード 1		

⑫写真貼付欄 ⑬郵便物送付先住所欄

<p>⑫ 写真貼付欄</p>	<p>「受験案内」(1ページ)の「2 提出書類」に従い、写真を貼り付け、撮影年月を記入します。</p> <p>写真の裏面に氏名及び生年月日を記入の上、全面をのり付けし、しっかり貼り付けてください。</p> <p>※ 写真は出願前6か月以内に撮影されたカラー写真とし、機械で読み取りますので、不鮮明なものや受験案内(1ページ)記載の写真の規格に適合しないものなど、受験写真として不適当なものは差替えをお願いすることがあります。</p>										
<p>⑬ 郵便物送付先住所欄</p>	<p>司法試験委員会から送付する郵便物の送付先住所を記入します。なお、受験票等の郵便物は全て令和3年4月以降に送付します。確実に届く郵送先を記入してください。住民登録をしている現住所でなくても構いません。ただし、日本国内の住所に限ります。</p> <p>※ 本欄は機械で画像を読み取り、郵便物の送付先としてそのまま使用しますので、楷書で、濃く丁寧に記入してください。また、アパート・マンション名、室番等、同居先まで正確に記入してください。</p> <p>【記入例】 郵便物送付先の宛名に旧姓(法務のぞみ)の使用を希望する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">⑬郵便物送付先住所欄</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〒</td> <td style="text-align: center;">1 0 0 - 8 9 7 7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">住所</td> <td style="text-align: center;">東京都千代田区霞が関1-1-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">司法アパート 101号室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">氏名</td> <td style="text-align: center;">法務 のぞみ 様</td> </tr> </table>	⑬郵便物送付先住所欄		〒	1 0 0 - 8 9 7 7	住所	東京都千代田区霞が関1-1-1		司法アパート 101号室	氏名	法務 のぞみ 様
⑬郵便物送付先住所欄											
〒	1 0 0 - 8 9 7 7										
住所	東京都千代田区霞が関1-1-1										
	司法アパート 101号室										
氏名	法務 のぞみ 様										

⑭連絡先欄

<p>⑭ 連絡先欄</p>	<p>司法試験委員会から問い合わせの際に使用しますので、正確に記入してください。</p> <p>「電話番号1」欄には、携帯電話又は自宅等の電話番号を記入します。</p> <p>「電話番号2」欄には、電話番号1に記載した連絡先以外で日中に連絡が取れる電話番号があれば、該当する項目を○で囲んだ上で、電話番号を記入します。</p> <p>「メールアドレス」欄には、携帯電話、スマートフォン又はPC等で使用する電子メールアドレスを記入します。メールアドレスがない場合は、記入は不要です。</p> <p>【記入例】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">⑭連絡先欄</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">電話番号1</td> <td>(090) 〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>電話番号2 (上記以外)</td> <td> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">自宅</div>・勤務先・帰省先・その他 () (03) △△△△-△△△△ </td> </tr> <tr> <td>メールアドレス</td> <td style="text-align: center;">abc@defg.hi.co.jp</td> </tr> </table>	⑭連絡先欄		電話番号1	(090) 〇〇〇〇-〇〇〇〇	電話番号2 (上記以外)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">自宅</div> ・勤務先・帰省先・その他 () (03) △△△△-△△△△	メールアドレス	abc@defg.hi.co.jp
⑭連絡先欄									
電話番号1	(090) 〇〇〇〇-〇〇〇〇								
電話番号2 (上記以外)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">自宅</div> ・勤務先・帰省先・その他 () (03) △△△△-△△△△								
メールアドレス	abc@defg.hi.co.jp								

⑮収入印紙貼付欄

<p>⑮ 収入印紙貼付欄</p>	<p>「受験案内」(1ページ)の「2 提出書類」をよく読み、受験手数料として17,500円分の収入印紙(現金・郵便切手・都道府県発行の収入証紙等は不可)を枠内に貼り付けます。</p> <p>収入印紙の枚数は4枚以内とし、貼り付けるときは、剥がれないようにしっかりとのり付けし、点線枠内からはみ出さないように注意してください。</p> <p>金額は過不足のないように注意してください(金額が超過する場合も受理できません。)。また、消印はしないでください。</p>
------------------	---

【受験願書記入例】

司法大学を卒業し、現在会社員で、受験者IDを持っている場合

令和3年 司法試験予備試験受験願書

この受験願書の記載事項は事実と相違ありません。

(姓)	(名)
フリガナ (カタカナ) シホウ	ノソノミ
①氏名 司法	のぞみ
(姓)	(名)
フリガナ (カタカナ)	
②旧氏名	
(姓)	(名)
フリガナ (カタカナ)	
③通称 又は旧姓	

④本籍地 又は国籍	コード	16				
⑤生年月日	元号	年	月	日	⑥性別	コード
	H0	10	32	8	2	
⑦職種	コード	訂正印不要				
	0603					

⑧最終学歴	学校名	司法大学
	学歴コード	法科大学院名コード
	11H1111	

※ 法科大学院名コードは学歴コードが「21」から「25」までの方のみ記載してください。

※ 記入誤りによる試験地の変更はできません。間違いないよう記入してください。

⑨受験者ID	12345678901
--------	-------------

※ 受験者IDを記載した方は住民票の添付は不要です。

⑩希望試験地	コード	⑪受験特別措置の希望	コード
101	101		

101 東京都又はその周辺
102 大阪府又はその周辺
103 名古屋市又はその周辺
104 福岡市又はその周辺
105 仙台市又はその周辺
106 札幌市又はその周辺
107 広島市又はその周辺

⑫写真貼付欄

撮影年月 令和2年12月

⑬郵便物送付先住所欄

〒 100-8977

住所 東京都千代田区霞が関1-1-1
司法アパート 1.0.1号室

氏名 司法のぞみ様

※ 上記住所欄に記載した文字をそのまま宛先として使用します。

⑭連絡先欄

電話番号1 (090) 〇〇〇〇-〇〇〇〇

電話番号2 (自宅・勤務先・楊名先・その他(上記以外)) (03) △△△△-△△△△

メールアドレス abc@defg.hi.co.jp

カラ写真とし、写真の裏面に氏名及び生年月日を記入の上、全面をのり付けし、しっかり貼り付けてください。

⑮収入印紙貼付欄 上の点線枠の外には、印紙を貼らないでください。

収入印紙 1万円分	収入印紙 5千円分	収入印紙 2千円分	収入印紙 5百円分
--------------	--------------	--------------	--------------

17,500円分の収入印紙を4枚以内で、点線枠内に貼り付けてください。
過不足のないようにしてください。
消印はしないでください。

※ [] ~ []

※ 以下の欄には何も記載しないでください。

<input type="checkbox"/> 全体確認
<input type="checkbox"/> 写真貼付確認
<input type="checkbox"/> 受験手数料確認
<input type="checkbox"/> 住民票確認
<input type="checkbox"/> 氏名漢字変更確認
<input type="checkbox"/> 受験特別措置確認
<input type="checkbox"/> 受付不備取込